

令和6年11月10日

研究公開用文書

研究名： 高齢心不全患者における身体的・社会的フレイルに関する疫学・予後調査 ～ 多施設前向きコホート研究～
研究の概要： 高齢の方は心不全を発症しやすく、若年者と比較して、心臓そのもの以外の身体的な要因や社会的な環境などが、再入院や生存期間により強く影響している可能性が指摘されています。本研究では、高齢心不全患者さまにおいて、身体機能的・社会的リスク因子がどれだけの頻度で本邦の心不全患者様に存在しているか、また、それらの因子と予後との関係性を明らかにする事を目的としています。より詳細な内容に関しては、ご希望であれば研究計画書および研究の方法に関する資料をご覧ください。担当者までお問い合わせください。患者さんもしくはご家族の方等がこの研究へのご参加を希望されない場合は、以下の連絡先までご連絡下さい。拒否された場合、患者さんにとって不利益になることは一切ございません。また、この研究のために患者さんの負担や危険が増えることはございません。
研究対象： 倫理委員会承認後から2018年12月31日の間に当院に心不全で入院された患者様を対象としています。
研究責任者： (附属市民総合医療センター) 所属：心臓血管センター 氏名： 花島 陽平
研究実施期間： 2016年11月14日 ～ 2030年12月31日
連絡先： 横浜市立大学(附属市民総合医療センター) 所属：心臓血管センター 氏名： 花島 陽平 〒：232-0024 住所：横浜市南区浦舟町4-57 電話：045(261)5656